

平成29年度 東京都立足立西高等学校経営計画

1. 目指す学校

本校の教育目標

生徒一人一人の豊かな人格の形成を目指し、社会の有為な形成者として、人権尊重の精神に基づき、国際社会において平和と文化の進展に寄与することのできる資質を養う。

特に次の目標を掲げてその実現に努める。

- 身体を鍛える。
- 思いやりの心を身に付ける。
- 知性を高める。
- 創造性を培う。
- 自主独立の心を養う。
- 社会に貢献する精神を育てる。

以上を踏まえ、次のような学校を目指す。

『安心していきいきと学べる学校』

- ・安全で快適な学習環境
- ・学習意欲を引き出し、生徒一人一人が伸びる授業
- ・知識と教養を高め、深い思考と豊かな表現力を身に付けさせる授業の展開
- ・きめ細かい生徒指導、生徒支援態勢の構築

『自ら将来を切り拓く力を育成する学校』

- ・3年間を見通した総合的なキャリア教育の実施
- ・生徒の活動力と創造力、主体性を育成する部活動及び学校行事の充実
- ・教育活動全般を通して思いやりの心を持った豊かな人間性の育成
- ・高い目標を掲げる指導と希望進路の実現

『地域から信頼され選ばれる学校』

- ・多面的な地域交流活動と地域の教育力の活用
- ・積極的な情報発信、分かりやすい広報活動
- ・生徒、保護者、教職員の信頼関係に基づく教育活動

2. 中期的目標と方策

本校は3つの土台（「きめ細かい生徒指導」「充実した部活動」「多様な地域交流、地域貢献」）の上に「安心して充実した3年間を過ごせる学校」になっていると認識し、さらに「利用価値の高い学校」「行ってみたい学校」へとステップアップしていくことを目指す。

そのため、足立西3つのステップアップ（学力アップ、マナーアップ、ウィルアップ）を合言葉に「生徒一人一人が伸びる学校づくり」を進め、教育活動全体を通して総合的なキャリア教育を実施し、生徒一人一人の主体的なキャリア形成力を育成する。

また、上記の目標達成のため、授業、キャリア教育及び生徒支援の組織化を一層進めるとともに、積極的なOJT、校内の情報共有の推進、分掌・学年・教科・経営企画室の連携による学校運営組織を強化し、教職員の人材育成と業務の効率化を進めながら教育活動の質の向上を図る。

◆意欲的、主体的に取り組める授業の確立

- (1) 身に付けた知識を基に、深く考え、考えたことを分かりやすく表現する力を身に付けさせる授業の展開
- (2) 本校の生徒の能力向上に資する学力スタンダードの策定
- (3) チャイム始業、授業への集中、居眠り防止を意識した授業規律の徹底
- (4) ICTを活用した授業の実践
- (5) 授業力向上に資する学校内外の授業見学、研修会等への参加推進

◆きめ細かで組織的な生活指導態勢の確立

- (1) 組織的な指導による校内規則の遵守
- (2) 基本的な生活習慣を確立させるための取組み強化
- (3) 自転車指導を中心とした安全指導の徹底
- (4) 特別な支援を要する生徒に対する支援態勢の構築

◆四年制大学への進学率向上

- (1) 真に希望する将来に向け、生徒個々の意識啓発と早期からの進路指導態勢を整備
- (2) 一般入試での大学合格を基本路線にするとともに、生徒の適性に合った AO 及び推薦入試の活用
- (3) 進路指導部と各学年との連携強化による組織的キャリア教育の充実
- (4) 特進クラスの運用改善
- (5) 新しい大学入試制度に対応できる指導方法の検討

◆募集活動の充実と本校志願者の増加

- (1) 募集活動の見直しと改善
- (2) 広報活動の充実
- (3) ホームページの更新頻度向上と内容の充実

◆特別活動の一層の充実

- (1) 部活動の加入率及び定着率の向上
- (2) 生徒会を中心としたボランティア活動の継続と発展
- (3) 生徒主体の学校行事運営の推進及び質的向上

3. 今年度の取組目標と方策

＜教育活動の目標と方策＞

＜生徒がもっと伸びる学校へ、多様な魅力ある学校へ＞をテーマとし「学力・マナー・ウィルのステップアップ」を目指した方策の具体化をさらに進展させ、「総合的なキャリア教育を実践する学校」としての組織的取組を定着させる。

学校運営についてはく教職員の相互理解に基づく組織的な協業体制の確立＞をテーマに具体的な教職員間の情報共有策を採り入れ、副校長及び分掌主任の役割を重視したミドルアップダウンによって組織力を強化し、業務の効率化を図りながら、利用者視点に立った教育活動の質の向上の推進を継続する。また、都立高校として、東京都教育施策大綱の理念に基づく主要施策にもできる限り取り組む。

生徒一人一人の人格を尊重した生徒指導・生徒支援を継続するとともに、生徒の能力向上を期待するキャリア形成を目指す。さらに、＜部活動を中核とした充実した3年間の保証＞を目指し部活動の多様化、魅力化、主体的な活動化を推進する。

【学習指導】

○意欲的、主体的に取り組める授業の確立

- ・必要な知識の伝授と理解を前提にアクティブラーニングの手法を取り入れ、生徒が主体的に考え、表現する授業を展開する。
- ・チャイム始業、居眠り防止の徹底を図る。
- ・ICT機器や視聴覚教材を効果的に活用し学習意欲を喚起すると共に理解を支援する。
- ・授業ミニマムを遵守し、質の高い授業準備を定着させて学習環境をさらに向上させ、個に応じた指導推進と基礎学力定着
- ・習熟度別の目標を明確化し、生徒個々に応じて多面的に学力アップを支援する。
- ・本校独自の特進システムの課題を整理し、生徒の実態に合わせたものに改善する。
- ・学力スタンダードを活用した目標を設定し、授業内容の共通化を図る。
- ・読書指導に力を入れ、読書による知識と教養の向上を図る。

○学習意欲向上、学習習慣定着

- ・土曜事業を活用し学生チューターによる支援を継続実施する。

- ・小テスト、週末課題等の工夫により家庭学習を定着させる。
- ・課題発見型の学習体系について検討し、実践する。

【生徒指導】

○組織的な品格のある生徒指導の推進

- ・遅刻激減を目指し、授業時間管理の一層の徹底を図る。
- ・身だしなみ指導、遅刻撲滅指導を中核に全校体制でマナーアップ指導に取り組む。
- ・生徒のマナーアップ・ウィルアップのための取組みを分掌・学年および個々の教員、生徒個々が実践する。

○安全指導の継続、繰り返し実施による徹底

- ・情報リテラシーの向上のための指導を外部の教育力活用も含めて繰り返し徹底する。
- ・自転車利用に係る交通法規遵守の指導を繰り返し徹底する。
- ・登下校時および校内安全確保のための多面的な指導を実施し徹底する。

○生徒支援体制の組織化

- ・SC を中核とした生徒支援体制を活用し、多様な生徒に向き合った支援を行う。
- ・SC や外部の教育力を活用し教員の生徒支援のスキルアップを進める。

【キャリア教育】

○キャリア教育の組織化・計画化

- ・総合的なキャリア教育の組織的な実施体制確立に取り組む。
- ・「人間と社会」、総合的な学習の時間や HR の活用に組織的に取り組む。
- ・インターンシップの在り方について検討する。
- ・模擬試験、検定試験の受験について計画的に指導していく。
- ・SA カードによる目標管理システムを導入し生徒の主体的な高校生活を支援する。

○進路指導の質的向上

- ・きめ細かく生徒・保護者への面談等を実施し、個々の生徒への理解と支援に努める。
- ・生徒個々の意識啓発と進路準備早期化への方策実施
- ・獨協大学との高大連携や公的機関との連携等外部の教育力の活用を推進する。
- ・大学進学希望者には大学入試センター試験や一般受験での進学を目標とさせる。
- ・自分の希望学科と一致する場合は AO 及び公募推薦等も推奨し、支援する。
- ・安易に専門学校を選択させないという前提で指導を進めていく。
- ・就職希望者には、希望に沿い継続安定性が見込まれる就職内定を目指させる。
- ・早期からの進路準備のための多面的な講習、指導を実施する。

【特別活動】

○部活動のさらなる魅力化と多様化

- ・部活動の加入率及び定着率の向上を目指した取組みを実施する。
- ・運動系部活動では望ましい生徒モデルの育成を主眼とする。
- ・文化系部活動では地域に発信し貢献できる生徒の育成を目指す。
- ・部活動・生徒会による地域交流・地域貢献活動を質・量ともにさらに充実させる。

○学校行事

- ・体育祭、文化祭を中心に生徒主体の行事企画運営を推進する。
- ・生徒の安全を第一とした行事運営を原則として検証と改善を図る。

【人材育成】

○OJT 推進

- ・個々の目標を明確化し、意図的・計画的に OJT を実施する。
- ・教員間の相互授業参観を積極的に奨励し、自己研鑽に努める。

○研修の奨励

- ・校内研修の機会を増やし、外部機関による研修への参加等の自己啓発活動も奨励する。

【募集対策活動】

○利用者本位の視点での募集対策活動の改善

- ・ホームページを活用した積極的な情報発信の推進と更新頻度のさらなる向上
- ・学校見学会、説明会の一層の充実
- ・組織的戦略的にマーケティングリサーチを継続し活用する。

【学校経営・組織体制】

- 校内情報共有の推進
 - ・TAIMS等を活用した情報発信、情報共有の推進を図る。
- 組織連携の強化
 - ・分掌、学年、教科、経営企画室の相互連携を推進し組織体制の強化を進める。
- 危機管理の徹底
 - ・個人情報管理、サービス、生徒事故等の事故未然防止に総力を挙げて取り組む。
 - ・外部者の訪問管理を徹底し、安全な学習環境を確保する。
- その他
 - ・費用対効果の観点を持って、予算の有効活用と適切な時期の執行を徹底する。
 - ・安全で快適な学校環境を維持するための施設点検、施設管理を徹底する。
 - ・入学者選抜業務は早期から綿密な準備を進め、教職員の総力を結集し円滑に進行する。

＜重点項目の数値目標＞（カッコ内は前年度）

- ☆中途転退学者 5名以内（7名）
- ☆学力不振による原級留置者ゼロ（2名）
- ☆授業満足度肯定回答 75%（63%）
- ☆進路指導満足度肯定回答 80%（71%）
- ☆各種検定資格取得 50名（45名）
- ☆特別指導ゼロ（12件）
- ☆遅刻前年度比 20%減（45%増）
- ☆自転車事故ゼロ（4件）
- ☆年度末の部活動加入率 55%（新規目標）
- ☆進路未決定者ゼロ（進学準備除き 8名）
- ☆センター試験受験者 50名（45名）
- ☆四年制大学進学率 40%（36.4%）
- ☆一般受験による大学合格率 50%（23%）
- ☆就職希望者の就職率 100%（100%）
- ☆長期休業期間講習参加生徒数延べ 500名（417名）
- ☆生徒会・部活動によるボランティア活動 20回実施（19回）
- ☆中進対志望倍率 1.3倍（1.24倍）
- ☆一次入選応募倍率 1.4倍（1.36倍）
- ☆学校説明会参加者 2000名（約 1800名）
- ☆学校HP更新 150回（120回）
- ☆個人情報管理事故ゼロ、サービス事故ゼロ、入選事故ゼロ（0）